

Helicobacter genus DNA fragments are commonly detectable in bile from patients with extrahepatic biliary diseases and associated with their pathogenesis

メタデータ	言語: eng 出版者: 公開日: 2017-10-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/14687

学位授与番号	甲第 1711 号
学位授与年月日	平成 17 年 6 月 30 日
氏 名	小林 隆司
学位論文題目	Helicobacter Genus DNA Fragments are Commonly Detectable in Bile from Patients with Extrahepatic Biliary Diseases and Associated with their Pathogenesis (肝外胆道疾患患者の胆汁中からヘリコバクター属遺伝子が検出され、さらに病態形成も関与する)
論文審査委員	主 査 教 授 金子 周一 副 査 教 授 清水 徹 澤武 紀雄

内容の要旨及び審査の結果の要旨

1983年に *Helicobacter pylori* (*H.pylori*) の分離が報告されて以来、ヘリコバクター属菌の分離・同定が続いている。さらに近年、*H.pylori* 以外のヘリコバクター属菌への関心が高まってきており、タイヤチリの胆道系疾患患者の胆汁や胆嚢組織中にヘリコバクター属菌 DNA が存在したという報告がある。

そこで本研究では、日本人胆道系疾患患者におけるヘリコバクター属菌の関与を、PCR法を用いて分子生物学的手法で調べた。胆道系良性疾患30例、胆道系悪性疾患6例の胆汁を対象とし、コントロール群には、非胆道系疾患21例の胆汁を用いた。無菌的に採取された胆汁より DNA を抽出後、*Helicobacter*-specific primer、*H.pylori urease A gene*-specific primer を用いて PCR を行なった。さらに *Helicobacter* genus-specific PCR にて陽性であった検体に対しては *Helicobacter species*-specific primer (*H.pylori* 16S rRNA and 26K protein, *H.hepaticus* 16S rRNA, *H.bilis* 16S rRNA) を用いて PCR を行なった。

得られた結果は以下のように要約される。

(1) *Helicobacter*-specific primer を用いた PCR では、非胆道系疾患に比較し、有意に高率に胆道系疾患でヘリコバクター属菌菌体成分が検出された。

(2) *H.pylori* に関する検討では、*H.pylori urease A* は、胆道系疾患の有無を問わず、高率に検出されたが、*Helicobacter species*-specific primer を用いた PCR では、1例も検出されなかった。

(3) *H.hepaticus*、*H.bilis* に関する検討では、*H.hepaticus* 16S rRNA が胆嚢結石症で1例、*H.bilis* 16S rRNA が総胆管結石症、胆管癌それぞれに1例ずつ検出されたのみであった。

以上の結果より、胆道系疾患患者の胆汁中に非胆道系疾患と比較して、ヘリコバクター属菌の菌体成分が分子生物学的に優位に高率に認められ、菌種の同定には至らなかったが、その病態への関与が示唆された。

本研究は、ヘリコバクター属菌の胆道系疾患への関与を示唆する研究であり、胆道系疾患の病態発生の解明に寄与する価値ある論文と評価された。